

～令和5年度小山地区まちづくり会議の方向性について～

1 方向性について

○市では令和6年度を目途に土地利用計画の策定が進められており、地域の意見反映については、今年度が山場になると見込まれる。そのため、今年度の小山地区まちづくり会議でも相模原駅北口地区のまちづくりについて検討を行う。

○前回のまちづくり会議において配布した【「相模原駅北口地区土地利用計画の方向性について」にかかるアンケート】の結果、ケース3を選択した方が最も多かったことから、ケース3をベースとし、他ケース等の良いところを取り入れた＜ケース小山＞を検討する。

○＜ケース小山＞を「小山地区まちづくりを考える懇談会」で発表し、市に対して意見具申する。

2 ＜ケース小山＞について

(1) テーマ

- ・子育て世代から高齢者までが住みよいまちづくり
- ・子育て世代が移住したいと思うまちづくり

(2) 各導入機能に整備する施設について

No.	導入機能	施設名
①	商業	医療ビレッジを併設 (交流機能を複合した大規模商業)
②	交流・にぎわい	地域型ホール
③	イノベーション関係	(研究開発、インキュベーション等の開発共創に資するオフィス)
④	居住生活	タワーマンションの低層階に保育園を併設 (駅前の利便性をいかした高層住宅)
⑤	交流ハブ	イベント等が開催できる公園

※ () 内は、市作成の「相模原駅北口土地利用計画の方向性（概要版）」に記載されている施設です。

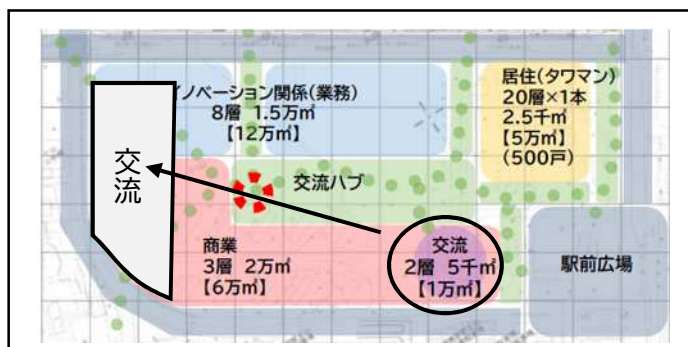
(3) 施設配置について

ケース3の交流にぎわい機能（地域型ホール）を駅前ではなく、ケース2のように住宅地側に配置してほしい。

【理由】

地域型ホールをひとつの地域活動拠点としたいため。

イメージ図



(参考) ケース2

